



未来に責任

未来
責任

— 変わらぬ志 これからも！！ —

兵庫県議会議員

川西市・川辺郡選出

越田^{こしだ}けんじろう

活動レポート 2018.1

県政150周年 新しい時代始まる。

1868年兵庫県誕生
今年で県政150周年

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、清々しい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年もご指導賜りますようお願い申し上げます。

さて、兵庫県は今年、県政150周年という大きな節目を迎えます。兵庫県は慶応4年5月23日（新暦の1868年7月12日）に、神戸港を含む摂津と播磨内陸部に点在していた旧幕府領を管轄する機関として誕生しました。初代兵庫県知事は伊藤博文です。

その後、廃藩置県が行われた明治4（1871）年に、川辺郡を含む摂津国の5郡が兵庫県に統合、明治9（1876）年8月に摂津、播磨、但馬、丹波、淡路が統合され、五国から成る現在の兵庫県になったのです。



人口減少が始まり
社会の前提が変わった

県政100年を迎えた50年前は、人口が増加しており、経済も右肩上がり成長をしている時代でした。したがって、人口増加を前提に社会の制度設計が行われてきたのです。

しかし、長引く少子化の影響で日本は人口減少に転じました。兵庫県でも、2009年をピークに既に人口減少が始まっています。

従来の社会の前提条件が崩れた今、人口減少を前提に社会の仕組みを整えていかなければならない時代になったのです。

新しい時代の主役は
市町の政治です

社会の前提条件が変わる中、新しい時代に必要なのは、多様な地域の課題に対し市町が独自性を発揮することです。

兵庫県は、平成30年度より「ひょうご地域創生交付金」を創設しますが、市町にとって用途の制限が少なく自由度が高い交付金になっています。

市町の自主的な取り組みを応援する制度の創設は、県議会議員としての私の目標の一つであり、過去から議会において制度の創設を求めていました。

県政150周年を迎え、新しい時代が始まります。これからの地方政治の主役は市町という認識のもと、今年は今まで以上に政策の提案を行うとともに、その実現に向け全力で取り組んでまいります。